

HEADLINE



社会医療法人ペガサスでは地域医療の質の向上のため、定期的に、馬場記念病院の登録医の先生方と一緒に勉強会を開催しています。2月6日にはリー・ガロイヤルホテル堺で第33回の勉強会を開催しました。勉強会では消化器科部長原順一医師による「特発性炎症性腸疾患について」、神経内科部長北口正孝医師の「睡眠中の大声、暴カレム睡眠行動異常、救急部部長宇野淳二医師の「当院の脳卒中センターの紹介」、法人本部課長代理の原田佳子の「脳卒中地域連携パスの実績報告」などの講演が行われました。

また同日、登録医の先生方と馬場記念病院の医師との連携強化・情報交換のため、登録医集会を開催しました。第11回目の今回は、法人本部企画運営局長 田中恭子から、各種研修や地域連携に対する取り組みなど、地域医療支援病院としての実績報告に加え、マンモグラフィ・骨密度測定検査器の共同利用促進のお知らせがありました。次に平成21年度のテーマである「救急医療体制の強化」に関して、急性期病床の確保対策としての高齢者専用賃貸住宅ペガサスロイヤルリゾート石津と介護療養型老人保健施設ペルセウスの開設さらに平成22年度に開設予定の介護療養型老人保健施設エクウスを紹介。その後、各診療科部長の紹介に続いて懇親会が行われました。今後も馬場記念病院では、登録医の先生方との交流の場として、より実りのある勉強会と登録医集会を開催します。



1月23日、社会医療研究所が主催し、社会医療法人ペガサスも共催する「日米ジョイントフォーラム2010イン大阪」が梅田の毎日インテシオで開催されました。これはアメリカの第一線で活躍する医療の専門家をお招きし、毎回さまざまなテーマについて語っていただくという恒例の講演会。今回は、第1部としてスーザン・グレッグ女史による「LTAC（長期急性期 病院とは何か?」、第2部ではスーザン・モーツ女史による「循環器ケアの新たな話題」に関する講演が行われました。



トータルコーディネーター
社会医療研究所 所長
岡田 玲一郎

さまざまな医療問題の解決に取り組む社会医療研究所所長。アメリカの最新の医療事情にも精通し、医療関係者を対象とするアメリカ病院視察ツアーをも主催。

ともに学び、
さらなる地域連携の
強化を

Report
*1

第33回馬場記念病院勉強会と、
第11回登録医集会を
開催しました。

登録医の先生方に、
より深くペガサスを
ご理解いただくため

アメリカ医療界の
第一線で活躍する
専門家が登場

Report
*2

第5回の日米ジョイント
フォーラムが開催されました

岡田所長らに加え、
活発な意見交換が
行われました

第3部では、第1・2部の両講師に加え、ボルドウィン・ウオラス大学のリー・ピクラー教授と、今回のフォーラムのトータルコーディネーターでもある社会医療研究所の岡田玲一郎所長をパネリストとして、「日米両国の課題と将来」というテーマでパネルディスカッションを実施。ここでは国境を越えた多くの医療問題に関して、それぞれの立場から活発な意見が交わされ、会場を訪れた医療・福祉関係者や学生にとって、有益な時間となりました。

社会医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成22年4月1日現在

	診療時間	診療科		月	火	水	木	金	土
馬場記念病院	午前診 9:00～ 受付 8:30～12:00	内科 循環器科	1診	山下 啓 (循環器)	坂本常守 (循環器)	難波雅司 (循環器)	周藤弥生 (糖尿病)	坂本常守 (循環器)	田口晴之／島田健永 第1・3・5週／第2・4週 (ともに循環器)
			2診	平山道彦 (循環器)	田中秀典 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	永田光里 (呼吸器)		若山公作 (呼吸器)
		外科 消化器科	外・消1診	金原 功	坂下克也	渋谷雅常	金原 功	寺岡 均	大平 豪 第1・3週
			外・消2診	原 順一	寺岡 均	真下勝行	渋谷雅常	平田直人	大平雅一 第2・4・5週
			外・消3診		河内屋友宏		原 順一		北田拓也 (肝臓病)
		脳神経 外科	脳外科1診	宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制
			脳外科2診	徳永 聡	馬場武彦	徳永 聡	前田一史	伊飼美明	
			脳外科3診	藤本基秋	甲斐康稔	藤本基秋	長岡慎太郎	甲斐康稔	
			脳外科4診	前田一史					
		(脳)神経 内科	(脳)神経内科1診	高橋光雄	北口正孝	峯田春之	北口正孝	平賀定一	濱田征宏
			(脳)神経内科2診	中谷芳美	千本裕子	西本和弘	楠 進／三浦文子 第1・3週/第2・4・5週	長谷川隆典	
		整形外科	整形外科1診	本田良宣	岡垣健太郎	三木慎也	本田良宣	岡垣健太郎	交替制
	整形外科2診		篠塚宗徹	山北真也	篠塚宗徹	山北真也	三木慎也	交替制	
	整形外科3診		吉田 映	山本 研 手の外来(予約のみ)		吉田 映			
	形成外科		山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英／矢野 基 交替制	
午後診 14:00～ 受付 13:00～15:00 は 予約が必要です。 必ず予約のうえ こ来院ください。	内科				坂本常守 (循環器)				
					玉垣芳則 (在宅酸素)				
	(脳)神経内科		北口正孝		北口正孝				
			池尻義隆／久郷亜希 第2週／第1・3・4・5週 (ともに認知症外来)		南部泰孝 (睡眠時無呼吸外来)				
	整形外科		岡垣健太郎 (関節の外来)						
泌尿器科			野澤昌弘		清水信貴(予約検査) 梅川 徹(診察のみ)	辻 秀憲			
馬場病院	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1診	久保俊彰	上田朋子 <10:00～>	上田朋子 <10:00～>		千本裕子	交替制	
	2診	担当医	本田良宣 <整形外科>	久保俊彰<外科> 担当医<外科>	山本喜英 <外科>	北口正孝 <(脳)神経内科>			
	午後診 15:00～18:00 受付14:30～18:00	1診 <内科外来にて>	担当医	宇治義正	久保俊彰	久保俊彰	久保俊彰		
ペガサスクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德 矢野 基 第1・3・5週 第2・4週	
		2診	宇治義正	担当医	宇治義正	宇治義正	宇治義正	岡本隆司 第1・3週 田中秀典 第2・4・5週	
		3診		宇治義正					
	夜診 18:00～19:00 受付17:30～19:00	1診	永田安德	担当医	宇治義正	宇治義正	担当医		
		2診	担当医	矢野 基	担当医	担当医	永田安德		
ペガサロイヤルクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00		中林孝之	峯田春之	中林孝之	中林孝之	中林孝之	中林孝之	
	午後診		往診	往診	往診	往診	往診		

ペガサスロイヤルリゾート石津 からのお知らせ

体操教室を開催しています。

高齢者専用賃貸住宅ペガサスロイヤルリゾート石津では、入居者の方々にいつまでも健康でお過ごしいただけるよう、月2回、リハビリテーションを兼ねた「体操教室」を開催しています。講師はペガサス ボランティア委員の岡井扶美子さん。今回の参加者は身体をある程度動かすことができる方たちで、また男性もいらっしやったため、従来の教室よりも大きな動作を取り入れた体操が多く、参加者の皆さまは楽しそうに体を動かしていました。今後もペガサスロイヤルリゾート石津では、入居者の皆さまの健康増進につながるさまざまなイベントを企画していきます。



現地説明会を行っています。

現地説明会を毎月2回、土日に実施しています。参加費無料となっておりますので、少しでもご興味のある方は、是非この機会にご参加ください。

現地説明会日程

3月13日(土)・14日(日)・27日(土)・28日(日)
※10時・13時に馬場記念病院から送迎バスが出ています。
お問い合わせ、お申し込み
お客様相談室：フリーダイヤル 0120-565-878
受付時間：9時～18時
入居対象：自立～要介護5までの方、年齢不問
※生活保護受給世帯・市町村民税非課税世帯の入居も可能です。ご相談ください。

3月のペガサスセミナーは、

平成22年度 診療報酬改定と
病院で取り扱う書類について

H22年度診療報酬改定によって病院の窓口負担がどう変わるのか、また病院でよく取り扱う書類について、医事課の担当者よりわかりやすくご説明させていただきます。

講師：三橋 昭弘

馬場記念病院 医事課 副主任

日時：3月31日(水) 午後2時～3時

場所：馬場記念病院 1階 ロビー

法人本部からお伝えしたいことがあります。

職員表彰を行いました。

ペガサスでは毎年、職員の勤務意欲の向上を目的に、他の職員の模範となる職員を表彰しています。平成21年度は、昨年12月22日に表彰式が行われました。今回は、栄養部の松井理恵、ME部の塚本賢治、看護部の副看護部長・正本恵子が職員表彰を受けました。このうち正本は、平成10年の 永年勤続表彰、平成12年の接遇表彰、平成15年の優秀表彰に続いての4回目の表彰。この表彰回数は、職員の中で最多の記録となります。今回は、大阪病院学会で「未就業看護師の復職支援研修に関する取り組み」について発表し、優秀な成績を収めたことが主な表彰理由となりました。



看護部副看護部長
正本恵子

今回の職員表彰では私が優秀表彰をいただきましたが、「未就業看護師の復職支援研修」は山村壽美子看護部長の指導のもと、三野直人副看護部長と一緒に進めている活動です。全国的に看護師不足が続くなか、病院全体で未就業看護師の復職支援に取り組んできたことが学会で評価されたものと、うれしく受け止めています。

また、今回は4回目の職員表彰となり、「私でいいのかな…」と驚くと同時に、うれしい気持ちでいっぱいです。こういう場を設けていただき、「もっと頑張りたい」と励まされた感じですね。表彰式では看護部の仲間もお祝いに来てくれて、「みんなに支えられているから、今があるんだ」という思いを強くしました。この表彰を機に、看護師としてもっと病院に貢献していきたいと思います。後輩たちと一緒に“看護の楽しさ”を共有できるよう仕事に励み、みんなで飛躍をめざしていきたいですね。

ペガサスグループからのお知らせ

ペガサス独自の「認定機能訓練士」資格を実施しました

ペガサスグループでは、すべての職員が機能訓練に関する高い知識と技術を持つことを目的に、独自の認定資格「ペガサス認定機能訓練士」を設けました。対象はグループ内の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士以外の職員で、機能訓練に従事する(可能性がある)人。1月に行われた第1回目は50名が挑戦し、合格者は、ペガサスデイケアセンター 今西崇、吉井宗広の2名という狭き門でした。私たちは今後も年に2回、この試験を実施し、より質の高い機能訓練の提供をめざします。



S p e c i a l

馬場記念病院 最前線

シリーズ
08

放射線科

レントゲンフィルムの向こうに
放射線科の専門医がいて、
適切な画像診断を行っています。

患者さまとの接点は
1枚のレントゲン
フィルムを通じて

放射線科の医師は直接、患者さまを診ることはありません。検査のとき、造影剤などを注射する以外、患者さまと接する機会がないため、皆さまにはなじみの少ない診療科なのではないでしょうか。でも、馬場記念病院で撮影されたレントゲンフィルム（X線写真）やCT・MRI画像などの向こうには、私たち放射線科の専門医が必ずいて、適切な画

像診断に努めていることを知っておいただきたいと思っています。

CT・MRI検査
などの画像を診て
病気の発見に努める

放射線科では主に、診療放射線技師が撮影したレントゲンフィルムやCT・MRI画像の読影を行っています。特殊なCT・MRI検査を行うときは、その撮影方法を技師に指示したうえで、画像を読影しています。また、造影検査（胃腸透視、注腸透視、血管造影）や、核医学検査で用いる放射性医薬品の投与と読影も放射線科の仕事です。検査件数は数多く、MRI検査だけでも月間800～900件、CT検査は月間2000件以上あります。多くの検査に迅速に対応するために、部長である私のほか、MRI検査の読影をする専門医が毎日1～2名勤務しています。さらに週1回、血管造影を行う専門医が2名勤務するなど、充分な専門医体制で正確な画像診断と病気の発見に努めています。



見落としがないよう
細心の注意を払う

レントゲンフィルムなどの読影でもっとも留意しているのは、病気が映っているかどうかを見極めること、その一言に尽きます。どんな場合も見落としは許されませんし、検査の結果「異状を認めません」と断言することは、専門医として大変勇気のいることです。十分に慎重を期して画像を診て、少しでも疑いがある場合は詳しく報告書に記載し、さらに必要な検査を組み合わせ、適切な診断・治療を行うことができますよう指示します。反対に、レントゲンフィルムで病状を診断でき、これ以上ほかの検査をする必要がないときは、そのことを主治医に伝えます。検査は少なからず患者さまに負担をお与えるものです。 unnecessary 検査を省

き、検査による被ばくを軽減することも、放射線科医の重要な役割だと考えています。

各診療科と連携し
確実な診断をめざす

放射線科では、脳神経外科領域の頭部CT、脳血管造影などを除き、院内のすべての診療科の依頼に応えています。そのため、各科医師とのコミュニケーションも活発です。とくに気になる患者さまについて、その後の診断・治療経過を聞くなど、絶えず情報のフィードバックを得ながら、より確実な診断を行うよう努めています。また、院内の各

科医師を集め、レントゲンフィルムの読影の症例検討会も行っています。院内だけでなく、地域の診療所の先生方から画像診断のご依頼も受けています。なかには、診療所で撮影したフィルムを持参し、相談に来院される先生もいらっしやいます。そういう場合はフィルムを見ながら意見交換し、より適切な診断のお手伝いをさせていただきます。

馬場記念病院
放射線科
部長 山田哲也